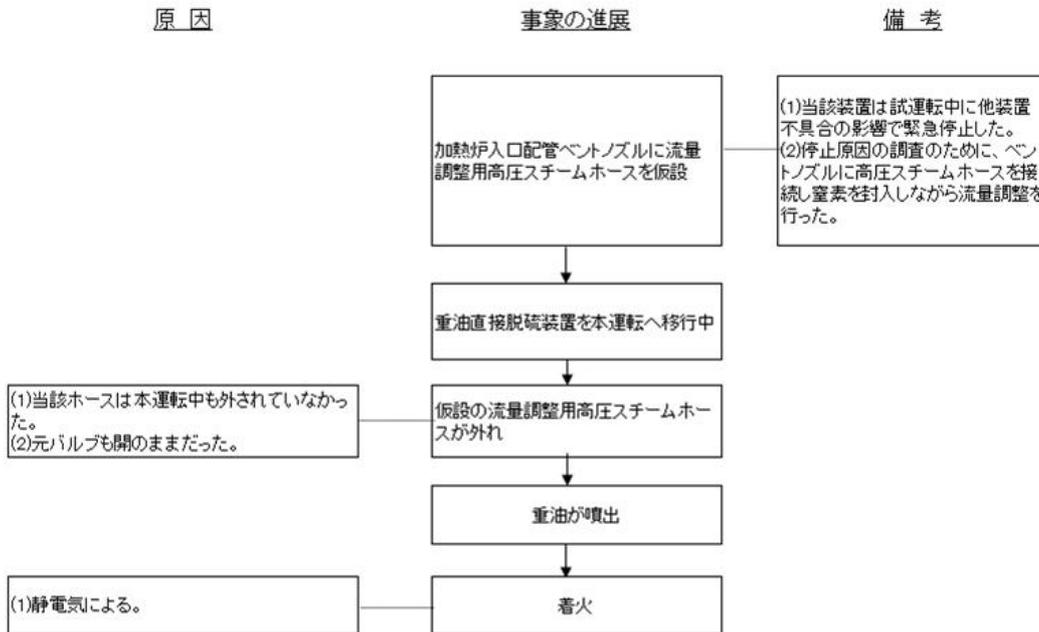




重油直接脱硫装置蒸留塔供給加熱炉の入口配管ベントノズルから重油漏洩火災

事象進展図

00119	重油直接脱硫装置蒸留塔供給加熱炉の入口配管ベントノズルから重油漏洩火災
発災年月日	1997年1月6日
装置	重油直接脱硫装置
運転状況	装置のスタートアップ中
特徴	人的要因: 仮設高圧スチームホースの取り忘れ



再発防止対策

工事点検マニュアルの見直し、周知徹底。

安全専門家コメント

報告書には「単純な人為ミス」と書かれている。ベントノズルと窒素配管を高圧スチームホースで接続した人の責任は免れない。また重油直接脱硫装置は再スタートなので、全ベントの開確認を改めてすることは必要であろう。接続した人が忘れても、ベントを開とするにはどうしたらよいか。それは再スタートに当たって一つの区切りを意識してつくる必要がある。

往々にして、水素製造装置が立ち上がった、今度は重油直接脱硫装置と職場の気持ちがかたくなる。さらに工程がそうになっていると、水素製造装置の不具合で重油直接脱硫装置で何を実施したか、その後始末はできていて、不具合前の状況にもどっているかなどを見直し再点検する時間と余裕ができない。

一つの区切りをもつことを職長が提案して欲しい。正常な状態が確保されていて、疑念がない状態であれば運転の責任を負えないという自負が事故防止につながる。

引き金事象発生の原因

・ホースの撤去収納、バルブ閉止未実施

事故の引き金事象

仮設高圧スチームホースの脱落

事故に関係した直接・間接要因
 《人的要因》
 ・作業確認不足・ミス



重油直接脱硫装置蒸留塔供給加熱炉の入口配管ベントノズルから重油漏洩火災

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

・全国危険物安全協会、危険物施設の事故事例 Case 100、P.8、1999年
・消防庁、製油所内の油配管に取付けられているベントノズルからの重油の漏えい・火災、危険物に係る事故事例 - 平成9年、P.40-43

▶ 添付資料



[重油直接脱硫装置概略フロー](#) (56 KB)

▶ キーワード(>同義語)

- 🔑 弁 > バルブ
- 🔑 直接脱硫 > 直脱, LR-HDS, DDS, 重油水素化脱硫, ARDS, RDS
- 🔑 重質油水素化脱硫装置 > 直脱, IDS, 残油水素化脱硫装置, 間接脱硫装置, 間脱, 直接脱硫装置, 重脱, ゴーフアイナー
- 🔑 水素化分解装置 > ハイドロクラッキング
- 🔑 間接脱硫 > IDS, 間脱, MHC, 減圧軽油水素化脱硫, VGO-HDS
- 🔑 手動弁 > マニュアルバルブ
- 🔑 配管 > パイプ
- 🔑 液ガス分離系

▶ 関連情報